

【NEWS RELEASE】

2018年4月24日

各位

株式会社三井住友銀行

大建工業株式会社の「SMBC働き方改革私募債」買受けについて

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、大建工業株式会社（代表取締役社長：億田 正則）の発行する「SMBC働き方改革私募債」を買受け致しました。

「SMBC働き方改革私募債」は、私募債買受け時にお客さまの働き方改革推進の取組状況を独自の基準で“見える化”（ ）し、その結果をご提供するとともに、今後の更なる取組推進に向けた情報提供を行う商品です。

今回対象となりました、大建工業株式会社に対する診断結果は、今後、働き方改革が期待できる「働き方改革のグロース企業」となりました。

特に、大建工業株式会社では、以下のような取組と実績を有しておられます。

夜19時30分以降と朝7時以前のパソコンの自動シャットダウンなどの長時間労働の抑制と、自己啓発奨励金の支給を並行して実施し、働き方改革による職場の活性化を強力に推進。

ワークライフバランス、女性活躍を進める取組として、トップ以下の全役職者が「イクボス」を宣言して社内に周知。

働き方改革の専門部署を設置し、社内向け「働き方改革通信」を既に7回発行しているほか、自社の取組について社外にも積極的に説明。あわせて、広報と連携して様々な媒体で複合的に情報を発信することで、働き方改革に関するコミュニケーションを促進。

さらに同社では、今後のさらなる働き方改革に向け、経営トップが、「DAIKENで働いていることを「幸せ」だと感じられるようにする」「1人ひとりが個として輝き、力をいかに発揮し続けられる会社の実現を目指す」を宣言し、具体的な取組の進化に向けた目標として、「2018年度に全管理職における女性管理職比率3%以上（約10名）とする」とコミットしておられます。

三井住友銀行では、「SMBC働き方改革私募債」により、お客さまの働き方改革に向けた取組を、金融を通じて応援してまいります。



経営トップによる
働き方改革宣言



好事例の周知を目的に DAIKEN
イクボスアワー2017 を実施



女性社員のネットワークづくり
支援として交流会を実施

() “見える化”については、基準の客観性および信頼性を確保するため、本分野で豊富な知見を有する株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：瀧崎 正弘）に業務を委託しております。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。